



VOLUME

14

2017年
11月1日発行

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 ぐんま

連携だより

地域医療機能推進機構 群馬中央病院

JCHO Japan Community Health care Organization

追悼 青木 純先生 ～偉大なる地域医療貢献医師を偲んで～ 04～05

理念・基本方針 02
地域医療連携センター長 ごあいさつ 03
放射線部からのお知らせ 04
地域包括ケア病棟 06

糖尿病外来・整形外科外来からのお知らせ ... 07
リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 ぐんま ... 07
市民健康医学講座のご案内 07
外来診療担当医一覧表 08



4つの心

群馬中央病院の理念

人権尊重の心 | 人間愛の心 | 奉仕の心 | 向上心

群馬中央病院の基本方針

人権の尊重と人間愛を基本とした医療・介護を行い、
地域の方々の健康と福祉の増進に寄与する。

地域医療・地域包括ケア・介護の連携の要として、
超高齢化社会における多様なニーズに応え、
安全・安心・信頼を要とした医療と介護を提供する。

地域の医療・福祉機関との連携を密にし、
地域医療における中核病院としての使命と役割を担う。

透明性が高く自主的な運営のもと、
常に医療・介護水準の向上に努める。



ごあいさつ

■ 副院長兼地域医療連携センター長

内藤 浩



「地域連携だより」11月号をお届けさせていただきます。

今回は、各診療科のご報告とともに、去る9月12日にご逝去された青木純先生の追悼記事を掲載させていただきました。みなさまご承知のとおり、青木先生の地域医療に対する貢献は計り知れないものがありました。CT、MRI等の読影は「日本一早い」とおっしゃられており、お言葉のとおり救急患者さんの来院から画像診断報告までの時間は本当に早く、また的確で、多くの患者さんの救命につながりました。

先生はまた、臨床医との連携を特に大切にされており、各科のカンファレンスにも積極的に参加されていました。毎週行われている「がんセンターボード」では、画像診断、手術診断、内視鏡診断、病理組織診断が同時に提示され、一例一例丁寧に検討し、本当に質の高いカンファレンスが開催されていました。

学術面の貢献も大きなものでした。ご本人が優れたご業績を残されたことは周知のとおりですが、後輩や他の診療科の研究にも積極的にご支援いただき、当院から多くの論文、研究報告が発表されてきました。

当院にとっても地域にとってもたいへん大きな存在であり、喪失感はい言わずもがな、先生のご遺志を大切にして、今後の地域医療を守っていきたいと考えます。

当院の本年度の事業で、大きなものの一つが糖尿病センターの開設です。4月にオープンし、お陰様で順調に推移しており、ご紹介患者数も伸びております。糖尿病センターは、クリニックの先生方との連携を主としており、糖尿病で困った患者さんがおられましたらご紹介いただき、治療法が定まったらお返しさせていただきます。食事療法や眼科健診等、糖尿病でお困りのことがありましたら遠慮なく連携室にお問合せ下さい。

来年は診療報酬・介護報酬同時改定の年です。どのような改定になるか、詳細はまだ出ていませんが、今まで以上の地域連携が求められることは確実です。みなさまと一緒に良い地域医療を構築しつつ、超高齢化社会を乗り越えたいと存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

追悼 ～偉大なる地域医療貢献



青木 純 先生

青木先生を偲んで

JCHO 群馬中央病院 院長 田代 雅彦

あらためて青木先生が当院で辿られた道を思い起こしてみました。

先生は平成 16 年に当院に赴任されてから、CT、MRI の読影はもちろんのこと、IVR にも力を注がれました。また各科のカンファレンスなどには積極的に参加され、まさに臨床の現場の最先端にいらっしゃいました。先生の読影レポートは正確なことはもちろんですが、最後に一言アドバイスが書かれています。一歩先を考えられての積極的なアドバイスです。単に画像からの情報ではなく、実際に患者さんと接している主治医の姿が見えていたように思います。ずいぶん助けられました。

平成 18 年からは放射線科は 2 名体制となりましたが、また血管造影室の改修や CT などが新しくなるにしたがって、仕事もますます増えてしまいました。ご負担をおかけしたかと思っています。

平成 20 年には、前院長が亡くなられ、私が引き継ぐとともに、青木先生に副院長をお願いしました。ちょうど電子カルテの導入の時期でもあり、慣れない病院運営をする私の背中をしっかりと押していただきました。本当にたくましく、また明るく前向きなことでどんなに助けられたかと思っています。一緒に仕事ができて本当にうれしく思っています。しかし、このこともご負担をおかけしたかと思っています。

また病院をよくするのは、医療の質がすべてといつも話されていました。青木先生はこのことに関してのブレは一切なかったと思います。私たちはこのことはこれからも大切にしていきたいと思っています。

平成 23 年に検診で悪性腫瘍が見つかり、治療に当たりましたが、それでも病院の仕事に影響が出ないよう細心の注意を払っていただきました。治療に専念されてもおかしくないと思います。本当に頭が下がります。ありがとうございました。

今まで、先生の大きな存在に支えられてきましたが、これからはそうはいきません。それでも、先生も目指されていただろう、高い医療の質と暖かい環境を両立する病院を目指して、職員一同頑張っていきたいと思っています。

青木先生のご冥福をお祈りいたします。

放射線部からのお知らせ

JCHO 群馬中央病院 診療放射線技師長 岸 俊夫

青木先生には大変感謝しています。当院は歴史ある病院ですが、初めての放射線科医師による放射線科部長となって頂きました。当院ではもったいないくらいの先生でした。先生が赴任したころにちょうど放射線部の画像配信とレポート配信システム導入の時期で、先頭に立って動いて頂きました。まさに現在の放射線科の礎を築いた人であります。また我々放射線部はどのようにあるべきか、放射線部としてのスタンダードとは、先生から色々教えていただいた事がありすぎてここでは書ききれないくらいです。特に先生の仕事に対する厳しさと、それ以上の自分に対しての厳しさは今後の当放射線部の宝としたいと思います。

先生の御昼は愛妻弁当で、放射線部控室で我々と一緒に食事をし TV を見ていました。料理をするのがお好きなようで料理番組がお気に入りでした。「これ作れそうだから今度の日曜日に作ってみよう」とよく言っていました。このような毎日が先日まであったのですが、本当に残念です。

心からご冥福をお祈りいたします。

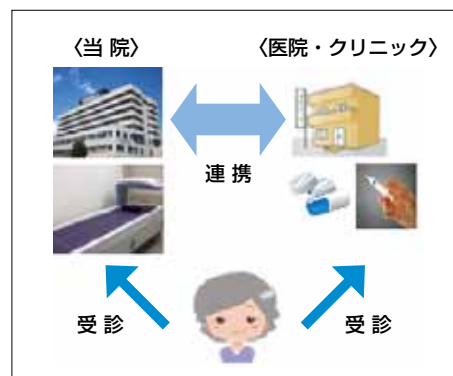
医師を偲んで～

普段より当院放射線科に検査紹介をしていただきありがとうございます。

当院のCT/MRIの読影レポート報告システムについては、以前からSTAT読影を実施しております。検査終了後、通常30分、遅くとも1時間でCT/MRの読影レポートと撮影した画像のCDをセットで患者さんにお渡ししています。

当院のCTはGE社製64列。以前この場を借りてご紹介をさせて頂いたようにハイスpekな装置が2台あります。午前中から2台とも稼働しておりますので予約患者さんが優先ですが、ONCALLに対しても無制限に受け付けています。予約をして頂けると待ち時間はありませんが、当日予約でも少し待ち時間が出来ますが撮影できますので、連携室にご連絡の頂けると幸いです。

次は当院にある骨密度装置を上手に使っていただきたいと言うお願いです。先生方の病院でも患者さんの高齢者の割合が高くなってきていると思います。高齢になると骨粗鬆症のリスクが高まること、また骨粗鬆症から椎体骨折を起こしてしまった時のADLの低下が心配になります。骨粗鬆症の前段階で早期発見・早期治療を開始したいとお考えの先生方もいらっしゃると思います。それには信頼性と薬の効果がはっきりわかるDEXAの骨密度測定装置が必要となります。そこで当院にあるDEXAの骨密度測定装置を使っていただきたいと考えています。当院では腰椎と左大腿骨近位部がルーチンとなっておりますが、両大腿骨近位部の撮影も可能です。紹介時に詳しく指定して頂ければ対応は致します。右図のようなイメージで当院を使って頂きたいと考えています。ご紹介をお待ちしています。



新任紹介



JCHO 群馬中央病院 放射線科 小林 進

群馬中央病院へ赴任して参りましたご挨拶の前に、謹んで故青木純先生のご冥福をお祈り申し上げます。

平成29年4月1日付けで、群馬中央病院へと赴任して参りましたので、わずかであったことは本当に悔やまれますが、短い時間の中でアカデミックな専門性と早く、高度な読影力を近くで学ばせていただいたことは、本当に貴重な時間であったと感じています。

私自身、これまでは、9年の間群馬大学医学部附属病院画像診療部で、主にCTとMRIの読影をして参りました。大学では広く群馬県内の病院から多種多様な症例が集まり、大変ではありましたが非常に勉強になりました。また大学病院在籍中は、前橋市の城西クリニックに非常勤医師として勤めており、地域の皆様と画像診断書という形ではありますが、接する機会ももたせて頂きました。昨今画像診断という分野は、CT、MRI機械自体の進歩に加えてアプリケーションの進歩も相まって、診断や治療に寄与する重みも増してきました。幸いにも当院には3TのMRI、64列のCT2台という、高性能の機械を有しています。このCT、MRI検査を通じて、地域の皆様の日々の診療のお手伝いできればと考えております。

今後は、青木先生が築いてこられた教えと、情熱を継承し、地域医療に貢献できるよう精進する所存でおります。

まだまだ不勉強で至らない点があるとは思いますが、何卒よろしく願い申し上げます。

地域包括ケア病棟

～当院の地域包括ケア病棟は、昨年 6 月より稼働開始しています～

地域包括ケア病棟のメリット

急性期治療後、症状の安定した患者さんは早くに退院していただいていたましたが、在宅での療養に不安があったり、もう少し入院治療をすることで社会復帰がスムーズになる患者さんのために最大 60 日まで継続入院が可能となります。

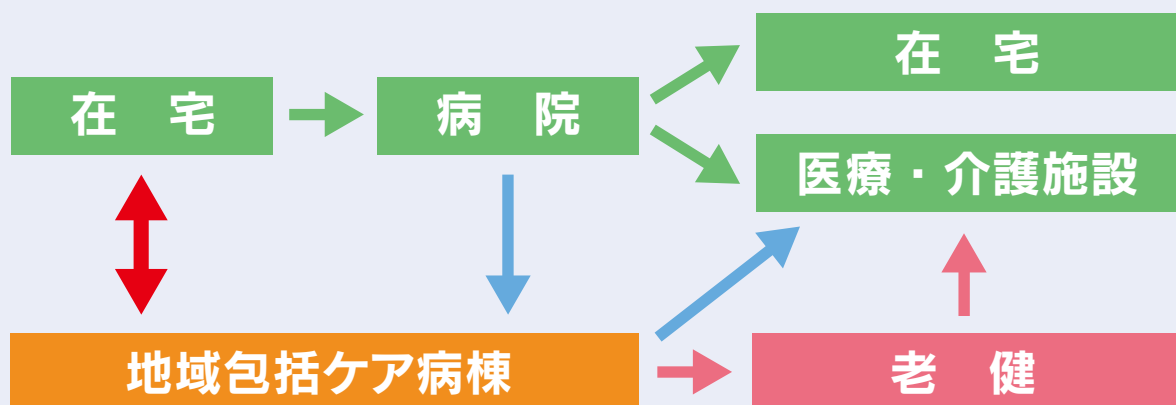
病院附属老健を含め、地域の介護施設・開業医の先生方と連携を図り在宅復帰に向けて治療・支援を行います。病棟専任の医療ソーシャルワーカーや退院支援看護師が患者さんをサポートし、介護保険申請等、在宅にもどる準備のお手伝いをします。

地域包括ケア病棟の現状

現在は、院内入院で急性期を脱し、病状の安定した患者さんを対象とし、基本的には在宅に戻れるように支援する病棟となっています。

病床利用率は 84%、在宅復帰率は 92% を超えており、整形外科疾患の患者さんを中心に糖尿病の教育入院や、内科、外科の急性期後の患者さんも利用しています。

一般病棟から、地域包括ケア病棟へ転棟の際は、主治医が判断し、患者さん・ご家族へ提案、説明します。入院患者さんのサービス向上に努め、スムーズに在宅復帰へ向かって行けるよう、地域の先生方や介護施設等と連携を取り、1 人ひとりにあった支援を行っています。



患者依頼方法や、対象患者などについてご質問・問い合わせ等ありましたら、遠慮なく地域医療連携室または患者支援室までご連絡ください。

受付時間
8:30～18:00
(土・日・祝日は除く)

TEL **027-223-1373** [直通]
FAX **027-223-1374** [直通]

糖尿病外来からのお知らせ

当院の糖尿病センターは、地域の先生方からのご紹介を受け、診察・栄養指導・腎症2期以上の方の透析予防指導・足のチェック及びフットケア・インスリン導入指導や自己血糖測定指導等をセンター内にて行っております。地域医療支援病院

であることを踏まえ、積極的に逆紹介を行い、かかりつけ医の先生方と協力して治療の中断がないよう努めて診療しております。

自己血糖測定器をすでにご使用になられている方をご紹介いただく場合、使用するチップ、針を持参して入院していただくと、測定器の確認がとれるので、助かります。

また、逆紹介後に栄養指導等で再度、糖尿病センターをご利用いただく場合、チェック式で簡潔に記載できる診療情報提供書をご用意しましたので、ぜひご利用下さい。詳細な利用方法やお問い合わせ等は、地域医療連携室にてお受け致します。



リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 ぐんま

日時

2017.10/7(土)－8(日)
12:00 START → 12:00 FINISH

会場

群馬県総合スポーツセンター
ふれあいグラウンド(前橋市関根町)

リレー・フォー・ライフ・ジャパン ぐんまは、がん患者さんを支援する米国発祥のチャリティーイベントで、チームによる24時間ウォークが大きな柱となっています。2013年にはじめて開催され今回は5回目の開催でした。

『群馬県がん診療連携推進病院』である当院は、職員有志によるチームを結成し、2013年の第1回目から毎年参加しています。

有志の職員も年々増加し、今年も120名を超える参加チームとなりました。

職員一丸となり、チーム力・団結力を強化し、がん患者さん・家族のサポートができればと考えています。



市民健康医学講座のご案内

当院では、病気の予防や知識を深めていただくことを目的に、2回/年間定期的に市民健康医学講座を開催しています。

前回の市民健康医学講座は、7月22日(土)『糖尿病とうまくつきあうために』と題し、糖尿病センター長の根岸真由美医師の講演でした。130名を超える方にいらしていただき、身近な病気ともいえる糖尿病について質疑応答を交えながらの講座を行いました。

今回は、●平成30年2月10日(土) 14:00～16:00

●テーマ 『がん』(内容未定)

●演者 JCHO 群馬中央病院 健康管理センター長 今井 邦彦

●場所 群馬県公社総合ビルホール



整形外科外来からのお知らせ

10月1日より、毎月第1金曜日の午後に畑山和久医師による膝の専門外来を開設しました。午前中、診察に来ることが難しい患者さんや学生の方などに広くご利用いただけるよう準備しました。完全予約制をとっていますので、ご予約・お問い合わせ等は、地域医療連携室までご連絡ください。



JCHO 群馬中央病院 外来診療担当医一覧表

受付時間：午前8時～午前11時（耳鼻咽喉科のみ、午前10時30分までの受付）、休診：土曜、日曜、祝日、年末年始（12/29～1/3） 平成29年11月1日現在

診療科・曜日			月	火	水	木	金
内 科	総合内科 (初 診)	午前	齋藤	北原(陽) 原田	今井	北原(陽)	佐藤
	一 般 (予 約)	午前	北原(陽)		北原(陽) 長谷川 田嶋(糖尿病)	今井 田嶋(糖尿病)	
		午後	今井(循環器) 田嶋(糖尿病)	北原(陽)(循環器)	今井(糖尿病)		北原(陽)(循環器) 田嶋(糖尿病)
	循環器内科 (予 約)	午前	羽鳥	羽鳥 大山		須賀	大山 須賀
		午後		須賀		大山	羽鳥
	呼吸器(予約)	午後	北原(信)	蜂巢	山口	解良	解良
和漢診療科		午前	小暮 山本(佳)	小暮 原田	小暮	小暮 山本(佳)	小暮
		午後	小暮		小暮(リウマチ)	小暮	
神経内科(予 約)		午前	大沢				大沢
		午後	金子	大沢		柴田	
消化器内科	肝臓	午前(予約)			堀内		湯浅
	ESD・内視鏡	午前		岸			岸
	一般	午前	山田(大腸予約) 堀内	田原	林	湯浅 林(予約)	大館
午後(予約)		大館		田原		岡村	
糖尿病センター(予約)		午前	根岸	根岸			根岸
		午後		土岐(内分泌)		根岸	
小児科	一般	午前	田代 河野	田代 須永	河野 田中	田代 水野 須永	田中 須永
		午後(予約)	田中(専門)			橋本(専門)(1・3・5) 春日(専門)(2・4)	橋本(専門)(2・4)
	小児外科				山本(英)		
	神経発達 (予 約)	午前	須永	須永	須永		須永 鈴木(1・3・5)
		午後	須永	須永	須永		
	アレルギー (予 約)	午前					水野
		午後	水野			水野	水野
	循環器(予約)	午後			田代(田中)	田代 田中	
	腎 臓(予約)	午後			小笠原		吉澤
	発達フォロー(予約)	午後	河野	河野	河野		
乳児健診(予約)	午後		春日 平形				
予防注射(予約)	午後			橋本 佐藤			
外 科	一般・ 消化器	午前	内藤 深澤 田部	調(肝・胆・脾)【紹介のみ】 谷 山本(英) 佐野	斎藤 田部 小峯	内藤 深澤 小峯 福地	谷 斎藤 佐野
		午後(予約)				茂木(呼吸器) 長嶋(緩和ケア外科)	内藤(大腸)
	乳腺・甲状腺 (紹 介)	午前	矢島【紹介のみ】				
	午後	藤井【紹介のみ】					
整形外科		午前	寺内(膝) 堤(脊椎) 中川(脊椎) 中島(脊椎) 【紹介のみ】	寺内(膝) 堤(脊椎) 畑山(膝) 高瀬	中川(脊椎) 畑山(膝) 高瀬	堤(脊椎) 中川(脊椎) 中島(脊椎)	寺内(膝) 畑山(膝) 中島(脊椎) 高瀬 【紹介のみ】
		午後(予約)	※膝・脊椎の記載について… 整形外科は一般外来として診療を行っておりますが、紹介患者さまについてはほと んどの方が専門的治療が必要な状態と考えられます。混乱を避けるために専門分野の記載をしております。				
産婦人科	一 般	午前	伊藤 金井	伊藤(8:30~10:00) 勝俣(森田)	太田 田口	伊藤(不妊不育) 太田	伊藤 安部
		午後(予約)	太田(検査)	金井 手術	田口(産後) 安部(特殊)	伊藤(術前) 茂木(HSG)	太田(検査)
	妊婦健診	午前	勝俣(荒川)	安部	伊藤	勝俣(茂木)	田口
		午後(予約)	荒川			篠崎(ハイリスク)	荒川
眼 科		午前	前嶋	前嶋 花田	前嶋 花田	前嶋	前嶋
耳鼻咽喉科(予 約)		午前	内山 群大	内山	内山	内山【紹介のみ】	内山
		午後	検査	内山(嚥下) 竹越	検査 塚田(第3週)		内山(嚥下)
麻酔科		午前	大川	川崎	富岡	高橋	富岡
皮膚科		午前	群大(第1・3週)	田村			
		午後(予約)					群大
泌尿器科		午前			羽鳥		
歯科(予 約)		午前・午後	平林	平林	平林	平林	平林

【ご案内】 ①医療機関等からの紹介状をお持ちの方は、できるだけ事前に予約して頂くようお願いいたします。 ②一部の診療科については予約制、紹介型外来等を行っております。 ・予約制外来 原則、午後は和漢診療科以外の診療科は予約制となっております。終日予約（神経内科、耳鼻咽喉科、歯科、禁煙外来） ・紹介型外来 乳腺・甲状腺（月曜日の午前・午後）、耳鼻咽喉科（木曜日の午前）、脳神経外科（火曜日の午後）、緩和ケア（精神科）（火曜・木曜日の午後）、皮膚科（金曜日の午後） ③その他 整形外科は、月曜日と金曜日の初診受付については、紹介状持参患者のみとなっております。 総合内科は、初診・紹介状持参患者のみとなっております。 緩和ケア（精神科）は、他科からの紹介患者のみ外来診療を行っております。火曜日の午後 草野（毎週） 木曜日の午後 鈴木

※詳細についてはホームページをご確認下さい。

診察・検査の予約お問い合わせは地域医療連携室へ

受付時間
8:30～18:00
土・日・祝日は除く

TEL 027-223-1373 [直通]
FAX 027-223-1374 [直通]

独立行政法人 地域医療機能推進機構

群馬中央病院

〒371-0025 前橋市紅雲町1丁目7番地13号 TEL 027-221-8165 FAX 027-224-1415

